

新潟県内における「見える化ツール」 を用いた広域的な分析の実施等

1. 都市の課題を見える化
2. 地価の変動を見える化
3. 市町村への周知啓発の実施

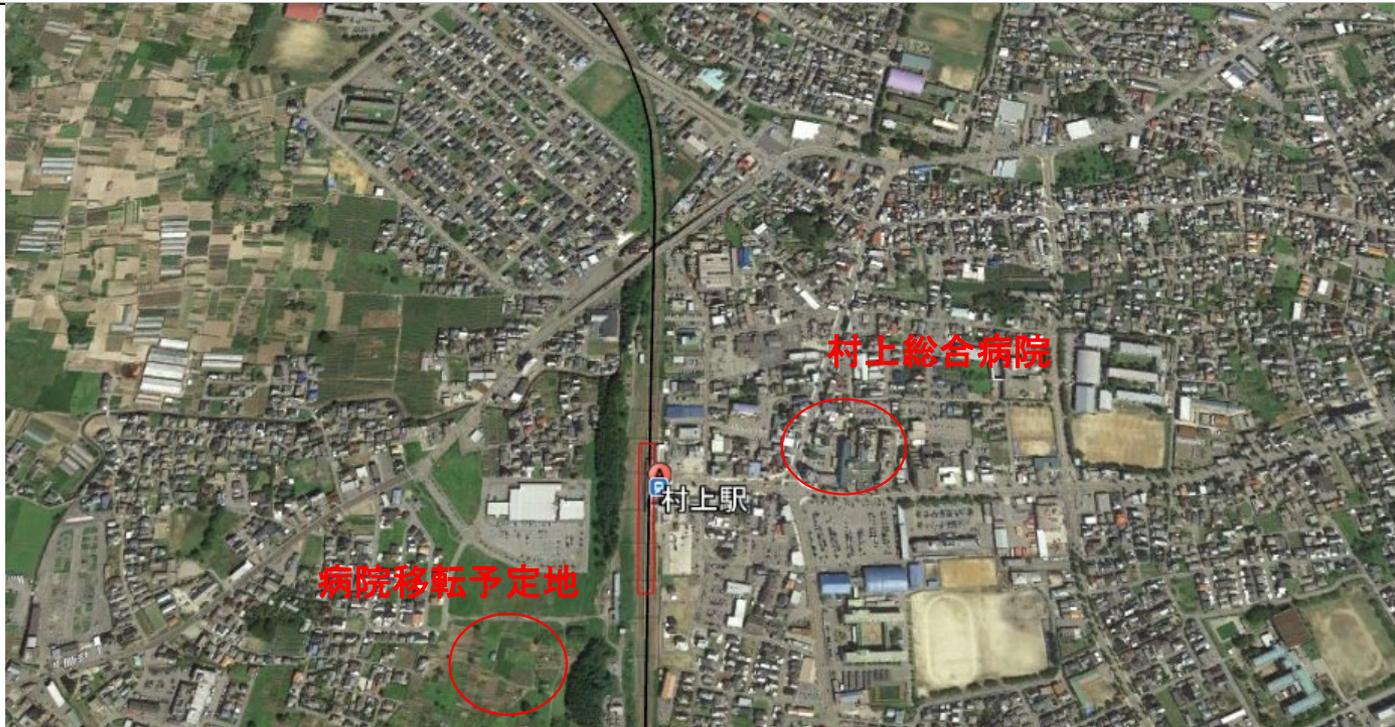
新潟県 都市整備課

1. 都市の課題を見える化

【新潟県村上市における事例】

『現状と課題』

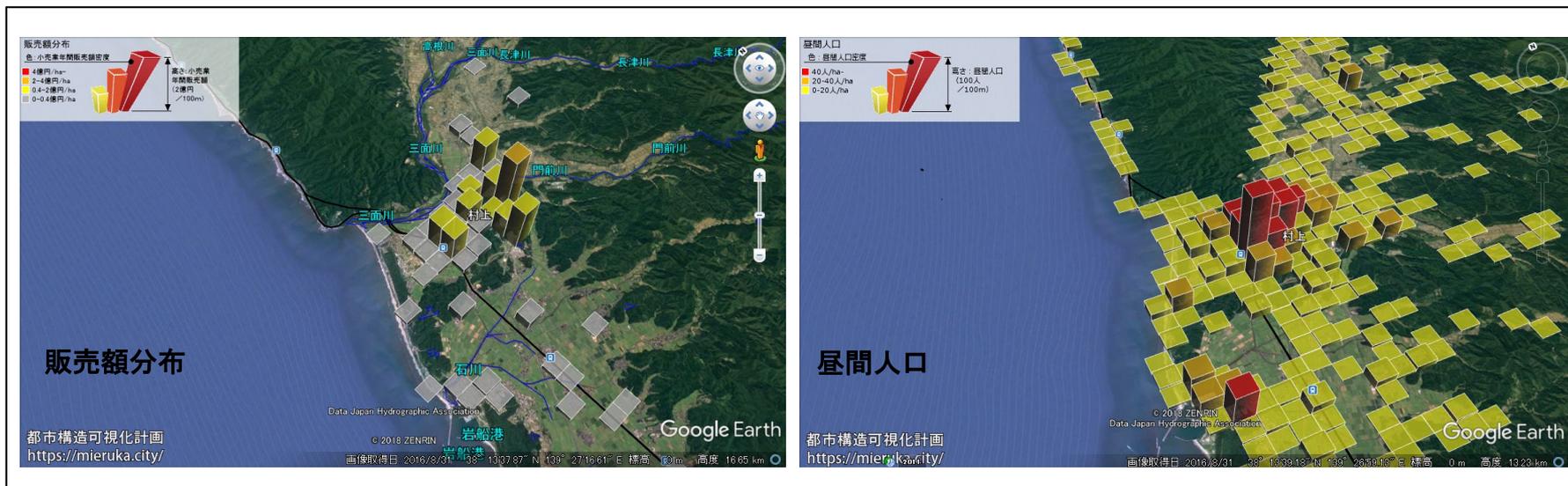
現在の駅出入口は駅舎が所在する東側のみだが、駅舎は既に築半世紀を越えて老朽化が進み、駅前広場は面積が狭小なうえに歩道と車道の区分が明確でないため、車両や歩行者の動線が錯綜するなどの問題点を抱えている。また近年は区画整理事業で、駅西側で都市基盤整備が進捗している点、さらには現在駅前に所在するJA新潟県厚生連村上総合病院の、施設老朽化に伴う駅西側への移転計画などを踏まえ、村上市では駅西側居住者の利便性改善や市街地の回遊性向上などを目的として、東西自由通路や駅前再整備について検討がされている。



1. 都市の課題を見える化

【新潟県村上市における事例】

駅の東西で、どのような違いがあるのか「都市構造可視化サイト」をもちいて検証を行った。



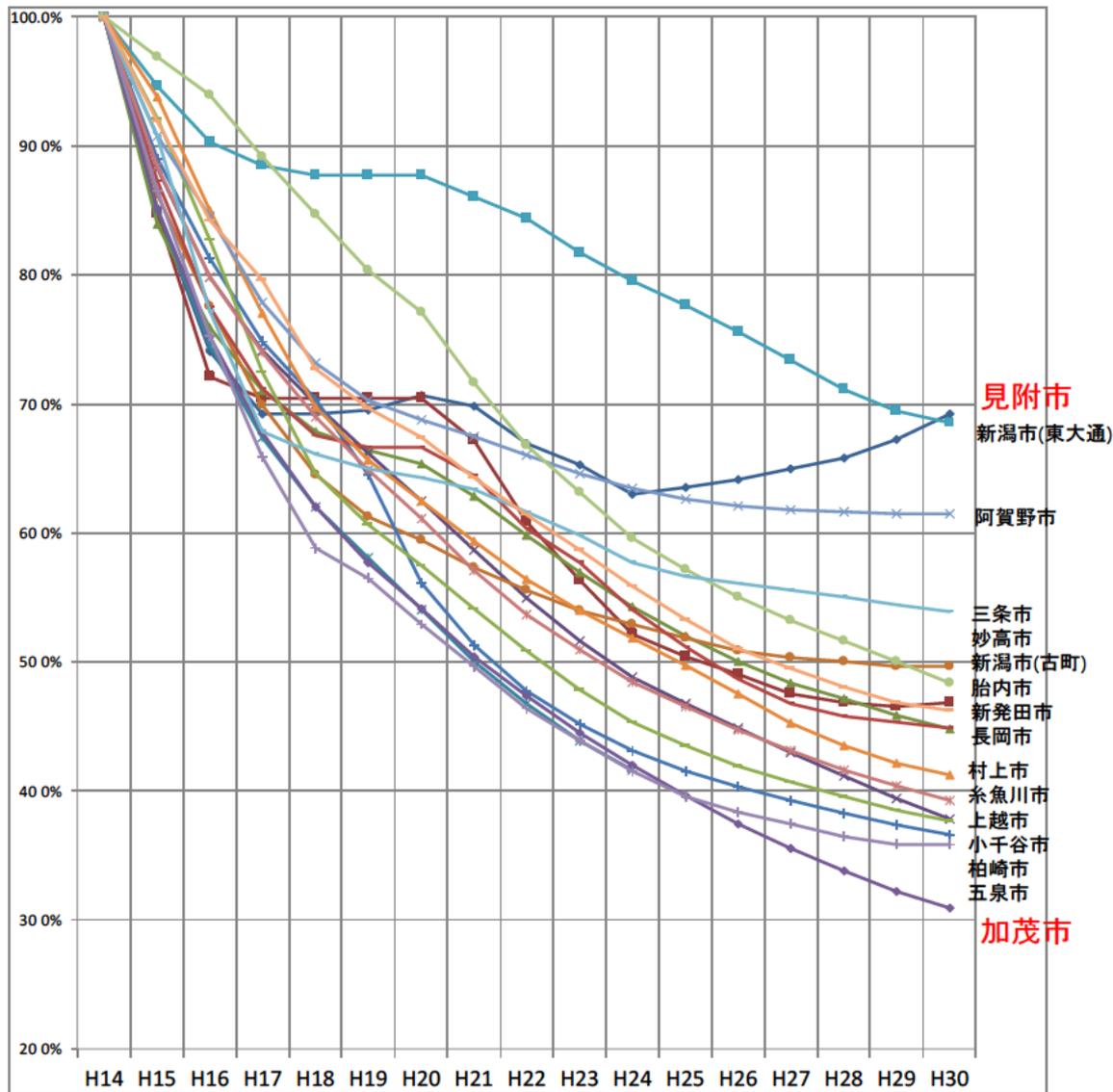
販売額分布、昼間人口で駅の東西で大きな違いが見られた。
ともに駅東側に集中していることがわかった。



今後、駅西側に病院が移転することで、東側住民の利用が不便となることが推測される。東西自由通路の早期整備が望まれる。

2. 地価の変動を見える化

県内主要都市(中心部) 地価調査結果 変動率推移
(平成14年の地価を100%とした場合)



県内主要都市(中心部)の
平成14年から平成30年
までの地価の変動率を比較



人口規模が同じ見附市と
加茂市において地価の変動率
が大きく異なることに着目



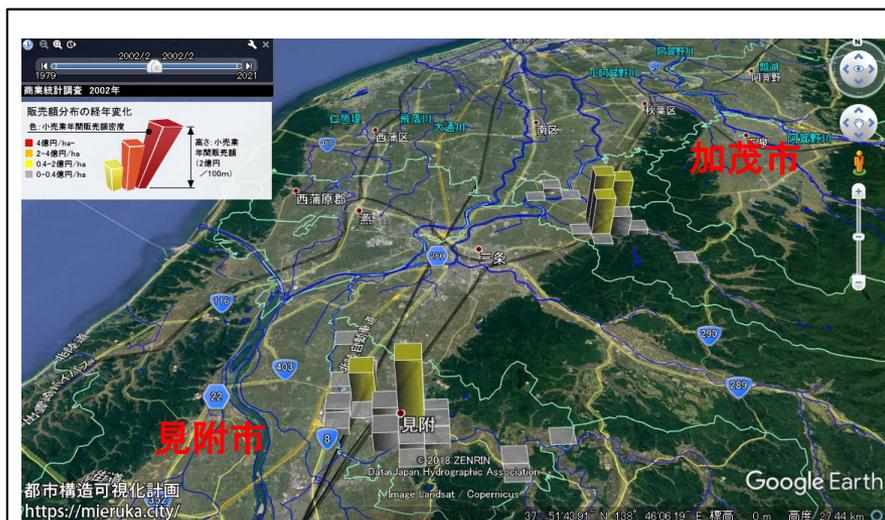
都市構造可視化サイトにて
見附市と加茂市の2市を比較
し違いの可視化を行った

2. 地価の変動を見える化

○販売額分布の経年変化で見附市と加茂市を比較

2,002年から2,014年にかけて、加茂市は、販売額を示す棒グラフの減少が見られる。

一方、見附市では2,002年から2,014年にかけて、販売額が増加している。



販売額分布 見附市-加茂市 2,002年



販売額分布 見附市-加茂市 2,014年

3. 市町村への周知啓発の実施

○新潟県柏崎市への周知啓発

柏崎市は、立地適正化計画の作成を検討しており、市役所の駅前移転等、柏崎駅前を中心としたコンパクトなまちづくりを考えている。立地適正化計画の参考になるよう、「都市構造可視化サイト」について情報提供を行った。

地球地図（Google-Earth等）上で都市再生を見える化する情報基盤「i-都市再生」

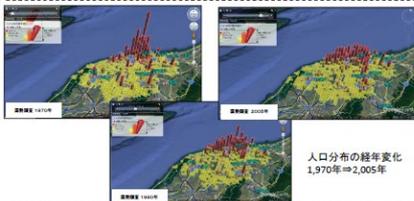
（都市構造可視化計画ウェブサイトの概要）

◆都市構造可視化はウェブサイトで公開中

◆今すぐ、誰でも利用可能（<https://mieruka.city>）

少子化・人口減少の対応と準備を進めるため、現状把握という観点から、人口、産業構造、就業構造、商業販売額といった個々の分野の統計データの経年変化、通勤通学、買い物等における公共交通の利用状況などを地図上で可視化できるウェブサイトが2015年4月に公開されました。

（特徴2）時間の経過に伴う変化を見ることが可能
各種統計調査は、定期的に行われているため、各調査年次のデータを経年変化のイメージとして見ることができます。



（特徴1）統計データの3次元表示
統計データは3次元で表示するため、都市構造を直感的に把握することが可能となります。



（特徴3）都市間比較が可能
複数都市を同時に表示することで、都市構造を比較しながら把握することができます。（新潟市と長岡市の比較）



まちづくりの施策立案に活用できるツール「i-都市再生」

ツールの概要がわかる資料を作成し配布



ウェブサイトを用いて使い方を説明

新潟県 土木部
都市整備課 市街地整備係